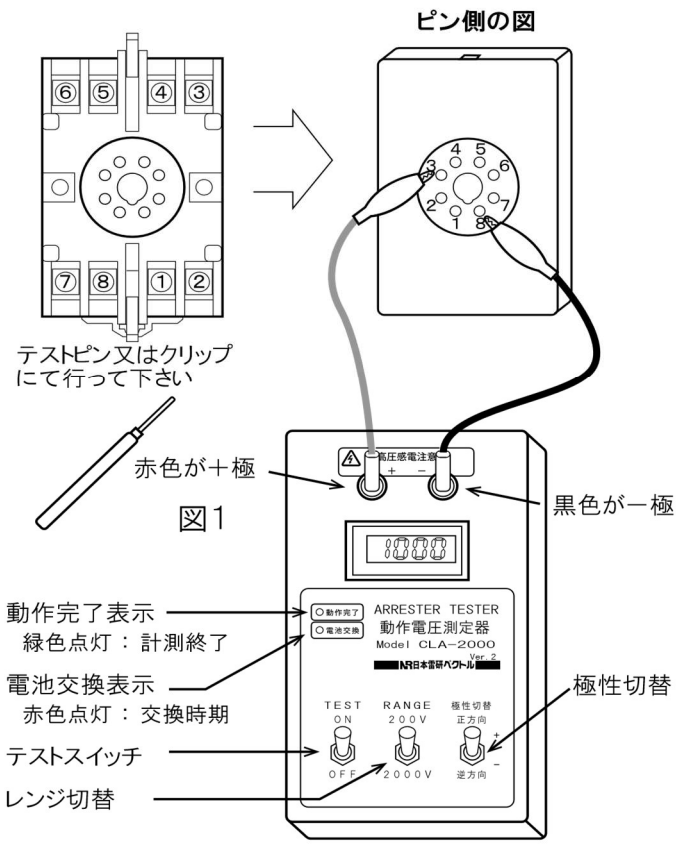
ＣＬＡ-2000による避雷器点検方法

適応機種
ＳＰ－１２２

●端子配列と結線図



チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000のは1mA以下の電流制限付きです。
1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への
電圧印加を停止します。
ＴＥＳＴスイッチをＯＦＦにするまで表示します。

●点検前のご注意

① 本器(エレメント部分)をソケットより取外して下さい。
② 感電にご注意下さい。
　ＴＥＳＴスイッチをＯＮにしている時、出力の電極を
　素手で触れないで下さい。
③ メータのサンプリング周期により読取誤差があります。
　２～３回程度行って下さい。

●点検後・・・新品交換待ちになった場合

① 劣化と判断した場合であっても電源・信号に支障が
　なければ、新品交換まで付け戻して下さい。
　交換までの雷サージ対策となります。

●素子の良否判定

① 測定する素子の動作電圧に合わせてRANGE（レンジ)を切り替えて下さい。
② 極性切替スイッチは通常正方向を定位置にして下さい。（極性切替時使用します）
③ チェッカーＣＬＡ-２０００のテストピン（またはクリップ）を下表端子番号に合わせて接続して下さい。
④ ＴＥＳＴスイッチをＯＮに投入して下さい。
⑤ 指示値が下表の範囲内は正常、範囲外は劣化(不良）と判定します。

＜中容量交流電源用避雷器＞

各素子	測定端子間	端子番号 ＋極／－極	印加電圧 （レンジ）	確認内容 下記の範囲であること	故障モード
対地間Z1	L1/E	⑥/③	2000V	423 - 517V	※ SHORT or OPEN
対地間Z2	E/L2	③/④	2000V	423 - 517V	※ SHORT or OPEN
線間Z3	L1/L2	④/⑥	2000V	423-517V	※ SHORT or OPEN
通報ALM	A1/A2	⑦/⑧	200V	SHORT	OPEN

※ TF(温度FUSE)切れ時はOPENになります。